

平成30年里地区敬老会

里地区コミュニティ協だより

九月九日(日)午前十一時から、里公民館多目的ホールで、恒例の敬老会が開催されました。



毎年、美しいハーモニーを披露してお祝いをする里中学生

今年の参加者は、全員で一〇五人。里地区老人クラブ支部長のあいさつの後、幼稚園児の「里小唄」の踊りや中学生の「いつか帰ろう、心のふるさとへ」の合唱があり、里支所の奥平支所長が乾杯の音頭を。宴会の始まりに平嶺和江さんが舞踊を披露されて、会食になりました。甌島の方言の講演で来島されていた国立言語研究所の窪菌晴夫教授も、生の方言を聴きたいということで、敬老会に参加されました。来年も元気に集いましょうを合言葉に、平成最後の会は、閉会されました。

薩摩川内市の、最高齢者は、里町在住の江口マツ代さん一〇七歳。里には四名の百歳を越える方が生活されておられます。素晴らしいですね。

薩摩川内市男女共同参画基礎講座

まちづくり塾 in 上甌島

九月十五日(土)午後一時半から里定住センター研修室において、上記の講座がひらかれました。講座は今回を含めて三回開催予定で、第一回目は、オフイスピュアのたもつゆかりさんをお迎えしての講座。二十四名が受講しました。

少子高齢化や世界経済など大きな社会変化が起きており、この対応のために社会構造改革が急がれていること。社会制度はもとより、まちづくりも、根強い固定的性別役割分担意識などを越えて、男女共同で参画しなければやりとおせない時代になったことなど。これからのまちづくりへの、大変説得力のある話に、「目からうろこだった」と感想を寄せる人も。年齢や性別にかかわらず人権を守り、お互いに尊重しあいながら生きる多様性の時代を、この里にも築きていきたいと思います。

*次回は十月十四日(日)十三時半。里定住センター2Fに於いて。

講座に参加希望の方は、里コミ協迄

甌海峡横断レース 2018

九月十六日(日)晴れ渡った空の下。特別にサップで参加した一チームをのぞく、ウインドサーファー達十九チームは、午前十時十分に唐浜をスタート。里・松原までのタイムを競いました。

里ウインダースからも、「わかもん」チームと「風シーターズ」が参戦。優勝は、国体選手もメンバーだった「家族ファーストの会」チーム。タイムは四時間十二分。

松原では、イカピンゲームや青空マルシェなどが開かれました。

里地区
コミュニティ協議会
事務局 3-2958